明るくて平和な未来を願いながら
～子どもたちとともに～

「水たまりは青い空を映すのがいい／子どもをぴちゃぴちゃ遊ばせる水たまりであってほしい」――今度のプログラムはこんな曲で締めくくられます。悲しく赤く染まるのではなく、平和な「青い空」を映してほしいと。

第８回は、そんな「願いが詰まった曲たち」で盛りだくさんの演奏会となりそうです。ご期待ください。

第１ステージ　旧約聖書の詩篇、バビロン捕囚から解放された民の讃歌『神に向かって新しい歌をうたえ』をテキストとした感謝と賛美を、異なる作曲家のアカペラ作品でご紹介します。

第２ステージ　富山少年少女合唱団との共演は２年ぶり。子供たちの澄んだ声に癒やされることでしょう。3.11という特別な日に、子どもたちの大切な曲を選んでくれました。

第３ステージ　誰もが知っている坂本九の名曲集です。当団の名誉指揮者である重松秀子が指揮します。横山潤子氏による編曲は樂音樹３度目。洗練されたアレンジをお楽しみに。

第４ステージ　『般若心経』は最も有名なお経（震災後は一般向けの解説書が増えたとも聞きます）。この曲はまさしくその262文字のお経が音楽となり、その響きの世界は一方で西洋的でもあり宇宙的とも感じられる大変美しい作品です。樂音樹は平成29年6月、作曲者である鈴木憲夫先生からこの曲の直接指導を受けることができました。

第５ステージ　今大活躍の作曲家山下祐加先生をゲストにお迎えし、山下先生の最近の作品をお楽しみいただきます。

『七色の風』は、ピアノソロ曲として誕生したばかりの作品です。今年も客演竹内佳代さんのピアノでどうぞ。

『じっと見ていると』は児童合唱との共演。やちまた混声合唱団の委嘱により平成29年4月に初演されました。山下先生が、高田敏子氏の膨大な詩集から「大人と子ども」のための詩を厳選されたとのこと。「ゆっくりと立ち止まって本質や真実を見る余裕や、人を思いやる気持ちの大切さ」「子どもたちの明るく平和な未来」詩人と作曲者の願いが、素晴らしい音楽で表現されました。大人と子どもそして聴衆の皆さんと、お互いに何かを感じ合える演奏を目指します。

（常任指揮者　森井 淳）

ゲスト・作曲家　山下 祐加

東京藝術大学作曲科を経て同大学大学院音楽研究科作曲専攻終了。作曲を尾高惇忠、日野原秀彦の各氏に師事。

2013年現音作曲新人賞入選。2014年「ねむりのもりのはなし」で朝日作曲賞受賞。

合唱曲「We always stand by you」「ありがとうの花束」「私たちは一人ではない」、混声合唱組曲「ねむりのもりのはなし」「光のために」「燕の歌」、ピアノ曲集「風のアラベスク」等がカワイ出版から、女声合唱のための「わらい」がパナムジカから出版されている。

客演ピアノ　竹内 佳代

桐朋学園大学ピアノ科卒業。ピアノを大坪亮子、川島伸達、松本清、伴奏法を松本明子の各氏に師事。在学中に第３回中部ショパン学生コンクール大学生部門金賞・中日賞受賞。これまで富山・浜松・名古屋でリサイタルを開催。ソロ活動、室内楽、伴奏など幅広い演奏活動を展開。

共演 富山少年少女合唱団

平成27年４月、富山児童合唱団と富山東部児童合唱団が統合。

「合唱を通して子供たちの健全な育成」を目標に廣本浩太氏指導の下、富山市東部児童館で活動。平成30年2月18日には第50回定期演奏会を富山市民プラザで開催。

合唱団「樂音樹」（代表　津田 朋信）

平成21年1月に結成し富山市を中心に活動中。年齢もさまざま、皆で成長しながら高みをめざしています。

技術的にはまだまだ未熟ですが、「感動」にこだわり、まずは自分たちが曲を愛してベストを尽くします。

前回の演奏会には、合唱曲「深き淵より」の作詩、詩人のゆきやなぎれい先生がお越しくださいました。今期は作曲者鈴木憲夫先生との出会いと、夢のようなレッスン。さらに山下祐加先生には今回２度目のご来場。「感動」が続いています。

団員募集！
～新しい仲間 いつでも歓迎です～
歌いたい気持ちが目覚めたら
見学・問い合わせ・日程の確認を
ホームページからどうぞ
www.gakuonju.com
がくおんじゅ
info@gakuonju.com